



# Flash News

三重大学

第64号

## 目次

- 平成21年度新執行部体制について
- 文部科学省「学校施設の防災機能強化の推進モデル事業」に採択
- 国際教育推進プランにかかる実地調査
- 「第15回3大学国際ジョイントセミナー&シンポジウム2008」に参加
- 法人評価・訪問調査終了
- CIO (chief information officer) 講座を開催
- 「三重大学共通教育特別講演会」を開催
- 秋のミニオープンキャンパスを開催
- 附属中学校音楽部の活躍
- 附属小学校音楽クラブの活躍
- みえ産学官研究交流フォーラム2008
- 国際インターンシップ報告会を開催

## 平成21年度新執行部体制について

11月19日開催の教育研究評議会で、内田淳正次期学長候補者から平成21年度の執行部体制について、次のとおり報告がありました。

学長	内 田 淳 正		
理事・副学長(企画担当)	後 藤 正 和	副学長(教育担当)	中 川 正
理事・副学長(教育担当)	野 村 由 司 彦	副学長(研究担当)	加 納 哲
理事・副学長(研究担当)	鈴 木 宏 治	副学長(防災・評価担当)	畑 中 重 光
理事・副学長(情報・国際担当)	松 岡 守	副学長(広報・安全管理担当)	登 勉
理事・事務局長(人事労務・財務担当)	( 未 定 )		

## 文部科学省「学校施設の防災機能強化の推進モデル事業」に採択

11月10日、標記事業の採択を受け、第1回教育学部附属学校の防災機能強化検討委員会を開催しました。河田恵昭教授（京都大学防災研究所巨大災害研究センター長）を委員長に10名から成る検討委員会は、附属学校の耐震改修計画に併せ、防災機能の見直し、必要な諸機能を整備するための基本計画および災害時に避難所として使用するための施設・設備についてまとめた施設利用計画を作成し、地域の防災拠点としての学校施設の在り方等を検討することを目的としています。第1回委員会では、三浦理事・事務局長による開会挨拶の後、附属学校の防災機能強化のための方策等について活発な意見交換が行われました。

## 国際教育推進プランにかかる実地調査

文部科学省の採択を受け、津市が中心となり三重大学等が協力して平成18年度から3年計画で進めてきた国際教育推進プランについて、文科省の実地調査が11月8日に三重大学で行われました。文科省から初等中等教育局国際教育課の山下恭徳課長補佐と平山りか係長の両名が訪問され、活動状況についてプログラム関係者（本学：小林理事、亀岡教授、松岡教授、附属小学校ほか、三重県教育委員会、津市立教育委員会、津市栗真小学校、NPO法人パンゲア）と質疑、意見交換を行いました。引き続き、メディアホールで開催されていた同プランに伴うパンゲアアクティビティを視察されました。

## 「第15回3大学国際ジョイントセミナー&シンポジウム2008」に参加



10月19日～24日、中国の江蘇大学で開催された標記セミナー&シンポジウムに、本学から5学部（研究科含む）の学生13名と学長・副学長・教職員11名が参加しました。この行事は、学生らに国際会議での論文発表の機会を提供し、国際交流を深めることを目的に毎年ホスト大学3校（本学、チェンマイ大学、江蘇大学）が持ち回りで開催しているもので、今年は、人口、食糧、エネルギー、環境のテーマに加えてEcological Developmentがホスト大学から提起され、学生全員が論文発表を行いました。教員も基調講演、学外研修に参加するなど盛りだくさんのプログラムをこなして、盛況のうちに幕を閉じました。

## 法人評価・訪問調査終了

中期目標期間の評価（法人評価）に係る訪問調査が、大学評価・学位授与機構により10月27日・28日の2日間にわたり行われました。この間、大学責任者からの意見聴取、附属図書館等施設の状況の確認、学生および卒業（修了）生との面談が行われました。今後は、来年1月下旬頃までには中期目標期間の『評価報告書（案）』が各大学に示される予定です。

## CIO (chief information officer) 講座を開催



11月1日～12月20日まで計6回、(社)三重県情報通信基盤整備協会と三重大学地域情報化リサーチセンターとの主催で標記CIO育成講座(場所:工学部23番教室)を開催しています。講師は三重ITコーディネータで、三重県内の自治体、学校関係者、地域企業を中心に約20名の受講生が参加しています。講座はPBL形式で進めており、事例を通して毎回、課題説明、グループ討論、発表、インストラクターによる解説を行い、CIOの基本的な役割、経営課題の抽出、経営戦略の把握、IT化目標定義、ビジネスシステム企画など、将来、CIOになるための能力を向上させています。

## 「三重大学共通教育特別講演会」を開催

10月20日、講堂において元シンクロナイズドスイミング日本代表でシドニーおよびアテネオリンピックの銀メダリスト武田美保氏による特別講演会を開催しました。『夢を追いかけて』と題し、シンクロナイズドスイミングとの出会い、日本代表の座を過酷な練習に耐えてつかんだ体験談や北京五輪での日本代表チームのメダル獲得への戦いなどが紹介され、「世界一への挑戦」を支えたモチベーションの維持、挑戦することの大切さなどについてご講演をいただきました。参加した約300名の学生や教職員は、武田氏の明快な語り口に、熱心に聴き入っていました。



## 秋のミニオープンキャンパスを開催

11月2日、大学祭にあわせて、ミニオープンキャンパスを開催しました。野村由司彦教育担当理事を囲んでの懇談企画「トップと語ろう」には約40名の高校生と保護者の参加があり、続いて開催された「入試なんでも相談コーナー」や各学部の企画(体験授業、体験実習、研究室見学、学生生活紹介コーナーなど)には、約300名の参加者があり、県外の方も多数参加していただきました。また、理系進学をめざす女子生徒のための進路相談会も同時に開催され、パネル展示や相談コーナーには多くの女子生徒が訪れました。



## 附属中学校音楽部の活躍

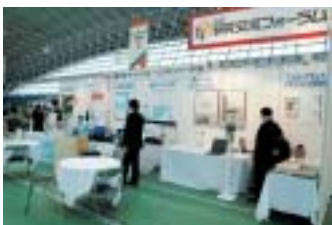


附属中学校音楽部が9月27日・28日に行われた平成20年度全日本合唱コンクール中部大会において、同声部門で1位になり、金賞と魚津市教育委員会賞を受賞しました。また、10月25日・26日には、4度目の出場となる第61回全日本合唱コンクール全国大会において、銀賞を獲得しました。出演人数は24名と少数でしたが、創り出す音の響きは、大人数の団体には負けません。一人ひとりのもてる力を精一杯發揮して、悔いのない合唱を披露しました。これらの成果が認められ、11月2日、三重の子どもゴールドフェスティバル(岡田文化財団主催)に出演し、また平成20年度津市文化奨励賞を受賞しました。

## 附属小学校音楽クラブの活躍

附属小学校音楽クラブは、11月8日、名古屋C B Cホールで行われた中部日本放送主催「子ども音楽コンクール」中部日本決勝大会に出場し、優秀賞を獲得しました。音楽クラブでは、一人ひとりが自分らしく歌うことを大切にしながら、友達の歌声や表現のよさを認め合うことを通して、つながりを深めています。歌に込めた一人ひとりの思いがつながり合って、聴く人の心を動かすパワーになっているようです。12月には、家族や友達を招待して歌声を楽しんでもらおうと、クリスマスコンサートを計画しています。

## みえ産学官研究交流フォーラム2008



11月7日・8日、四日市ドームにおいて標記フォーラムが開催されました。今年も「リーディング産業展みえ」との同時開催で、県内企業と大学、高専、公設試験場(三重県工業研究所、三重県農業研究所、三重県水産研究所)、支援機関が一同に集合しました。本学からは15ブースを出展し、産学官民連携マガジン「Yui」の配布をするなど、研究・教育活動の成果を来場者に広くアピールしました。会場には、一般の方も多く来場し、まさに産・学・官・民が集うイベントとなりました。来場者は2日間で7000名を超え、三重県地域の産学官民連携がさらに発展していく手ごたえを感じました。

## 国際インターンシップ報告会を開催

11月19日、国際交流センターにおいて、標記報告会が開催されました。国際インターンシップは、本学とタイの6大学で締結した覚書を基に学生を相互派遣し、受入大学が紹介する企業で就業体験を行うもので、高い教育効果を得ることができるプログラムです。当日は、今年度タイへ派遣された日本人学生5名およびタイから受入れた留学生1名の就業体験等の報告が行われ、学生および教職員35名が熱心に聴講しました。

## 投稿のお願い

各種事項(大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等)に関するフレッシュなニュース提供をお待ちしています。

小林英雄(kobayashi@mie-u.ac.jp)または井上真理子(mariko-i@ab.mie-u.ac.jp)まで。場合によっては、取材に向きます。

《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページで(<http://www.mie-u.ac.jp>)ご覧いただけます。》編集責任者/理事・事務局長 三浦春政

